



元氣とタイムリーな情報を提供する

五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉

2023年03月27日 第1111号「週刊五十嵐レポート」

需要と供給

3月25日付朝日新聞、「サンマ漁獲枠25%削減」という記事。サンマの漁獲枠は2020年に導入され、現在は海域全体で33万トン、2023、24年に新たな漁獲枠は25万トンとなる。

サンマ全体の漁獲量のグラフを見ると、1998年、1999年は約15万トン。2007年は50万トン超、2008年60万トン超、2019年20万トン弱、2021年9万トン。この25年間でグラフは山の形を示している。まるで商品のライフサイクル(「導入期」「成長期」「成熟期」「飽和期」「衰退期」「消滅期」)のよう。不漁の原因の一つは過去の取り過ぎ。サンマは希少価値となり、2022年の市場価格は10年前の7倍以上と、高級魚になった。

3月26日付日経新聞、「大工半減」という記事。住宅の建設や修繕の担い手である大工が減っている。2022年末の国勢調査によると、2020年時点で30万人弱と過去20年で半減した。賃金水準などの待遇改善が進まず、若い世代が減り、高齢化が進んでいる。2020年時点で、大工の約60%が50歳以上、うち30%超は65歳以上。一方、30歳未満は7.2%。このままであれば、2035年前後に約15万人、2040年代前半には10万人を切ると予測している。

3月26日付朝日新聞、「卵の供給不足深刻化」という記事。鳥インフルエンザの感染拡大による鶏卵の供給不足が深刻化。日本全体の採卵鶏の約1割が減った。卵の価格は右肩上がりでスーパーでは売り切れが目立ち、飲食店のメニュー休止や食品の生産調整も出始めている。生産量が元に戻るのには半年から一年くらいかかるとのこと。

需要と供給で供給が減り、それでも需要があれば、価格は上昇する。商品・サービスは希少価値となる。大工のいる工務店は希少価値となり、「大工」というのがブランドになる。大工を育成する教育システムがある工務店は小さな会社でも有望である(同様に電気工や鉄筋工も教育システムを持っている建設会社は楽しみ)。また特定の商品や特定の業界に執着するとライフサイクルの影響もあり、会社が衰退してしまい、倒産ということもありうる。そうならないために、次への研究開発をしていく必要がある。

ちょっと
気になる出来事

3月17日付日経新聞文化欄、「アカデミー賞、国際化くっきり」。

95年目にして初めてアジア人が米アカデミー賞の主演女優賞に輝いた。「私のような見た目のすべての男の子と女の子へ、これは希望と可能性の印です。夢がかなう証です。そして女性のみなさん、『あなたはもう盛りを過ぎた』なんて誰にも言わせてはなりません」と、ミッシェル・ヨー(中国系マレーシア人)オスカー像を手に語りかけた。

助演男優賞の受賞も中国系ベトナム人のキー・ホイ・クアンが受賞。あの「インディージョーンズ魔宮の伝説(84年)」の子役と言えば、分かる人は多い。その後、アジア系の役がなく、裏方だったのが、50代を越えてからアジア系俳優の活躍の場が増えた。

野球に話を変えると、3月22日WBCで日本が米国に勝って、世界一を奪還した。日本の野球が世界に通用することを証明したとともに、野球の面白さが世界の多くの人に伝わった。

コロナや戦争で世界は分断されているが、一方ではグローバル化も動いている。



一口メモ
知識

患(かん)を思う

患(かん)を思いて予めこれを防ぐ。(水火既済・すいかきせい)
水火既済(すいかきせい)の卦(か)は、事をすでに成した、完成や達成の時を説く。

完成は物事の極点である。満月が欠けるように、完成は必ず欠け、乱れる方向へと向かう。これから力が衰えていくことを認識せず、さらなる成長を遂げようとすれば、気がついた時には急激に失速する。

「患」は悩み・憂い・病気などの患難。
ピークを過ぎてもなお持続・保持しよとすれば、
前もって細かいメンテナンス、対策が必要になる。

「易経一日一言」(致知出版/竹村亜希子)より

- 「戦略社長塾東京」小岩校 毎週日曜日・水曜日 午前10時～12時
- 「戦略社長塾東京」銀座校、武蔵村山校、豊岡校 開講中。

㈱五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5
TEL03-3659-7703 Fax03-3659-7077 info@igarashireport.com

